

放課後等デイサービス評価表【保護者用】

公表：2022年1月28日 保護者数：103 回収数：60 割合58.2%

◎この「保護者からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見等	ご意見に対する回答
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	17	6	3	・集団も個別も広い活動スペースがあるので閉鎖的な感じは無いです。 ・運動することで脳の発達を促したり、発語にも良いと聞きました。もう少し走りまわったり、ボールを使っても大丈夫な環境を希望します。 ・もっと広いといいと思う。	※現在、移転に向けた準備をしております。移転後は、十分な療育室及び外遊びのスペースが確保できる予定です。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	43	13	2	2	・個別の先生方はもちろん専門性はありますが、個別を受ける頻度が少ないので、学童の先生方の専門性を望みます。先生方の人柄は◎です！	※心理、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士、臨床心理師等児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。しかし、個別療育においては必要な時間を確保できていないのが現状です。今後は適切な療育時間が確保できるよう努力してまいります。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	18	13	6	・トイレ、手洗い場などの配慮が必要だと思います。年齢に合ったサイズスペース、清潔感など。 ・バリアフリー化という点では、まず入口の引き戸が重く力が弱い人にはつらいかもしれません。今は中学生と共用の廊下やトイレで環境としてはイマイチですが、新しいつぼみ園になったら環境はバッチリになると思います。	※現在、移転に向けた準備をしております。移転後は、スロープの設置やバリアフリー化になる予定です。また、トイレは年齢にあった対応ができるようになっていきます。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	37	16	1	6	・個別支援計画を渡されるのが、支援期間が終わる頃なので、早めにいただけるとありがたいです。	※個別療育指導者の計画及び保護者の方のセルフプラン、かつガイドラインに沿った内容で作成させていただいております。わかりやすい説明を行い周知に努めます。また、適切な時期に渡せるよう努力いたします。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	36	15	2	7		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	7	23	13	・コロナ時期なので出来なかったと思います	※今後、実現に向けて努力してまいります。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	50	6	1	3		※契約時に説明を行っております。また、利用者負担の変更などについては随時書面にてお伝えしております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	13	2	4		※今後も引き続き、保護者の方々とのコミュニケーションを大切に、お子さんのことについて相談しやすい環境づくりに努めます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	17	2	2	・学校との連携は取れていると思います ・日頃からではないが、専属の先生方とは出来ている	
	⑩ 親の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	17	13	13	・子供の療育時間の中で行われている	※現在、集団療育利用の方のみ親の会がありますが、今後は、利用している保護者同士の交流がもてるよう、親の会の内容について検討していきたいと考えております。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	13	1	18	・昨年度からコロナの影響で難しいと思います。	※相談体制について、周知に努めていくとともににより良い方法を検討していきます。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	11	1	5	・先生方は保護者からの意見をしっかりと聞いてくださり、それに向けて前向きに考えてくださっていると思います。ただ実現には社会福祉課の上の方の理解や協力が不可欠です。先生方の負担が大き過ぎないよう職員の配置や専門性のある職員の採用をお願いします。	※話しやすい環境を整え、情報が入手しやすい、また、保護者の方々が利用しやすい環境整備に努めます。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	11	4	16		
⑭ 個人情報に十分注意しているか	48	5	0	7			
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	11	2	19		※各種マニュアルの周知・説明について努めます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	4	3	22	・個別で通っているため、避難訓練はありません。	※現在、集団療育利用者のみの訓練となっていましたので、全員への訓練実施が課題です。今後は、訓練の在り方について検討し、保護者の方へ周知するよう努めます。
	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	38	16	3	3	・嫌がる事なく行くので、嫌ではない様です。	※今後も子どもの特性を理解し、子どもたちが安心して楽しく通える事業所を職員一同で目指していきます。

満足度	⑮	事業所の支援に満足しているか	35	15	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は満足ですが、個別指導に期間がかなりあいてしまう ・内容はとても満足しているが、個別療育が3ヶ月に一度なので、子供の変化を伝えることが難しい 	※お子さんに必要な個別療育の提供ができるよう環境を整えていきます。また、相談希望に応じて面談を行っております。今後も保護者の方々が相談しやすい環境づくりに努めます。

1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。